

平成22年6月23日

「くまもとデコポン」のお中元用までの新たな商品展開紹介
 ～くまもとイチ押しブランドづくり～

本県では「くまもとの顔」となる品目のトップグレード化によるイチ押しブランドづくりに取り組んでいます。

この一つ、本県産のデコポンは、平成2年の初出荷以来、面積・生産量ともに日本一を誇っており、本年3月には20周年を迎えたところです。

今後ともトップブランドであり続けるため、熊本デコポンの新たな需要開拓への展開として、長期貯蔵技術の導入による新商品づくりを昨年度から始めたところです。

この技術の導入により、販売期間が1ヶ月程度延長され、6月中旬以降までの販売が可能となります。

貯蔵期間をより長期化することにより、「お中元用デコポン」までの商品化を目指しており、今年度から試験販売を開始します。

【概要】

お中元用デコポンとは

7月のお中元時期までの商材として出荷するデコポンを想定

長期貯蔵方法

1月から2月の間に収穫し、3月に鮮度保持フィルムに1個ずつ包み貯蔵する

鮮度保持フィルムとは・・・

MA包装資材（商品名「P-プラス」；12円程度/枚）

包装内の空気を「低酸素・高二酸化炭素」の状態にすることで青果物の呼吸を抑え（冬眠状態）、鮮度を保つ方法。

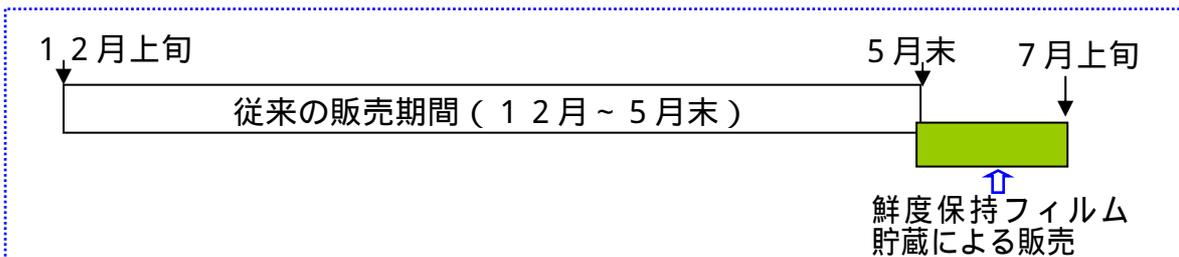
青果物の鮮度保持資材として主に野菜類に用いられている。

取り組みが行われている産地

J A熊本果実連（J A熊本うき、J Aあしきた、J Aあまくさ等）

販売期間

6月～7月上旬



今年販売予定数量

35t

販売先

関東中心（県内販売も実施）

県の支援策

平成21年度から「魅力あるくまもとブランド園芸産品づくり推進事業」を開始し、お中元用デコポンづくりに向けた品質管理体制整備等（鮮度保持シール処理機の導入、貯蔵中の品質変化調査等）を支援しているところ。

【参考：不知火・肥の豊（デコポン）について】

主な産地：宇城地域、芦北地域、天草地域

栽培面積：1,308ha 生産量：17,352t（平成20年産熊本県果樹振興実績書より）

全国シェア：面積38%、生産量38%（平成19年産特産果樹生産動態等調査）

出荷地域：関東地域、関西地域、中京地域、九州地域他

お問い合わせ先

農林水産部 園芸課

果樹・花き班

担当：川口・下田（内5392）

電話：096-333-2394

FAX：096-385-4334